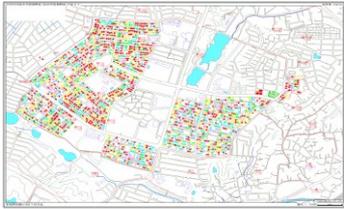


課題	<ul style="list-style-type: none"> ■ 団地開設50年超となり、高齢化や住宅の老朽化が進み、空き家が増加。 ■ 郊外大型店との競合による団地内の商業施設の魅力低下なども顕在化。
目的	団地内に存在する空き家の活用にとどまらず、今後空き家となる可能性の高い住宅を特定し、それらの空き家予備軍に対し、具体的な予防策を講じ、空き家の増加を抑える。
取組内容	①鶴ヶ谷団地戸建住宅現況調査票及び築年数マップ ②アンケート調査分析・ヒアリング調査分析 ③住民報告会 ④ホームページの作成 ⑤街並み再生イメージプランの作成 ⑥空き家問題住民相談会
成果	①鶴ヶ谷団地戸建住宅現況調査票及び築年数マップ作成 ②アンケート調査・ヒアリング調査分析結果作成 ③住民報告会(2月9日実施) ④ホームページの作成 ⑤空き家・空地の利活用提案と街並み再生イメージプラン作成 ⑥空き家問題住民相談会(3月26日実施予定)

取組内容と成果物

① 鶴ヶ谷団地戸建住宅現況調査票及び築年数マップ

■ 建築概要書による建築時期、建物配置調査



- ・ 団地内全住戸 (2,438戸) 分の建築概要書データ分析
- ・ 建築年度別色分けマップ

② アンケート調査分析・ヒアリング調査分析

■ 空き家対策についてのアンケート、ヒアリング調査の実施



- ・ アンケート調査報告書
- ・ ヒアリング調査報告書

③ 住民報告会 / ⑥ 空き家問題住民相談会

- 住民向けアンケート調査報告会 (2月9日開催)
- 空き家問題と建物よろず相談室の開催 (3月26日開催予定)

④ ホームページの作成

- 団地の成り立ち、人口構成、当委員会の目的や取組内容等の紹介



⑤ 街並み再生イメージプランの作成

- アンケート調査結果より空き家・空地の利活用提案
- ・ 団地区域内の高齢者や子供達が地域住民と交流を深める場所の提供。

